

〒960-8530 福島市八島町7番7号

TEL (024) 534-6101 (代表)

発行：福島赤十字病院 R6.8.■



病院ホームページ



Facebook



消化器内科部 医師集合写真

[特集1] 消化器内科・内視鏡センター

[特集2] マイナ保険証のご利用について

Vol.60

基本理念：「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

基本方針：「患者さま中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」
「災害時の救護活動」「原子力災害対応機能の充実」「健全な経営の維持」



消化器内科・内視鏡センター



児玉 健太 消化器内科部主任部長 (兼 内視鏡センター長)

〈認定医・専門医等〉
 日本内科学会 認定内科医
 日本消化管学会認定 胃腸科専門医
 日本消化器病学会認定 消化器病専門医
 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・指導医
 日本がん治療認定医機構認定医
 日本大腸検査学会評議員

消化器内科について

当科では消化管（食道、胃、十二指腸、大腸）、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓疾患の診断、治療を行っています。それぞれの疾患の専門医や指導医が、最新の治療をガイドラインやEBM（Evidence-Based Medicine）に基づいて施行しており、また、福島県立医科大学の消化器内科、内視鏡診療部と連携を取り診療をしております。

肝疾患専門医療機関であり、ウイルス性肝炎や自己免疫性肝疾患の治療、肝細胞癌にはラジオ波焼灼療法、免疫チェックポイント阻害剤や分子標的治療薬による治療、最新の血管造影装置（PHILIPS社製 AZURION）による肝動脈塞栓療法、また難治性腹水には腹水濃縮再注入療法を行っています。脂肪肝や肝硬変、肝胆膵疾患のスクリーニングや診断に欠かせない腹部超音波装置も肝硬度測定（shear wave elastography）や造影エコーができる装置を使用しています。マルチスライスCTは鮮明で滑らかな3次元画像を作成可能で、1.5T超電導MRI装置2台と共に肝胆膵疾患の診断に威力を発揮しています。

施設認定

- 日本消化器病学会認定施設
- 日本内視鏡学会認定指導施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本膵臓学会認定指導施設

内視鏡センターについて

2019年より内視鏡センターが開設されました。低侵襲で安全な内視鏡検査・治療を心掛け、鎮静剤投与下での検査にも柔軟に対応しております。食道・胃・大腸の早期がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）治療やポリープに対するEMR（内視鏡的粘膜切除術）治療を積極的に行っております。また、吐血や下血に対する止血処置や総胆管結石へのEST（内視鏡的乳頭切開術）、閉塞性黄疸への内視鏡的ドレナージ等を緊急で施行できる体制を整えています。内視鏡的治療が困難な症例（進行がんなど）に対しては、外科と連携し外科治療を含めた最適な治療方針を決定します。

• 上部消化管治療

胃・十二指腸潰瘍出血などによる上部消化管止血術や食道静脈瘤に対する結紮術・硬化療法^{※1}も行っております。また悪性腫瘍に対する全身麻酔下もしくは鎮静下でのESDや緩和治療としての消化管ステントなど内視鏡を用いた治療を幅広く行っています。

• 下部消化管

10mm未満の出血リスクの少ない症例に関してはcold polypectomy^{※2}にて日帰り治療や初回検査での治療も行っております。また、従来は前日入院し2泊3日で行っていたEMR治療も症例によっては当日入院の1泊2日での治療を導入しています。上部消化管同様に早期癌に対するESDや進行癌狭窄例に対するステント治療などを行っています。

• 胆膵領域

胆管結石や閉塞性黄疸に対して、内視鏡を使用し胆管・膵管を造影する検査を行っております。胆膵領域の専門医が常勤しておりEUS（超音波内視鏡）^{※3}も随時施行しています。また、検査部の協力の下「EUS-FNA」という超音波内視鏡を用いて腫瘍に対して細い針を刺し腫瘍細胞を回収する検査も行っております。膵腫瘍や胆嚢ポリープなどの精査なども幅広く対応しています。

※1

硬化療法…静脈瘤の血管内あるいは静脈瘤周囲に硬化剤を注入し止血を行う

結紮術…静脈瘤自体を小さな輪ゴムで止めることにより静脈瘤の血流を遮断する

※2

高周波電流のような熱を加えずに切除する方法

※3

レンズの代わりに超音波（エコー）装置がついていて、超音波を用いて胃や腸といった消化管の中から消化管の外の臓器の検査や治療を行うことができる



内視鏡検査室（全3ブース+透視室1ブース）

IVL治療導入のお知らせ



副院長
大和田 尊之(循環器内科)

人間の血管は動脈硬化がより進んでいくと内膜が石灰化していきます。これまでは冠動脈に狭窄を起こした場合、風船で拡げたり、ステントというチューブを入れたりして狭窄を拡張しますが、石灰化があるとなかなか拡がりません。IVLカテーテル（Shockwaveカテーテル）は病変の石灰化を衝撃波で割り、拡張しやすくする治療器です。石灰化が強く、IVLの風船が病変を通過するような狭窄は良い適応となります。当院でも今年2月から導入しました。IVL以外でも石灰化病変を治療する治療器としてロタブレーターやダイヤモンドバックもあり、これらに適している病変もありますので、患者さんによってどれを使用するかは血管の所見をみて判断します。IVLの利点は石灰化のみに割を入れるため、正常な組織に影響を与えないことと動脈硬化のかすを末梢にとばして閉塞させることがないこと、さらには側枝にワイヤーを入れて保護した状態で病変の治療ができることです。今は超高齢化社会で狭心症や心筋梗塞の患者さんでも冠動脈の狭窄が石灰化している方が以前より数多く見られるようになりました。今後はこれらの治療器の適応がある症例が増えていくと思われます。当院では患者さん一人ひとりの適応をよく判断し使用していきたいと思えます。

新任医師 紹介

麻酔科



くわな けいすけ
桑名 圭祐

出身大学
福島県立医科大学
平成29年卒

専門とするもの
麻酔科

認定医・専門医
麻酔科専門医

メッセージ

安心・安全な麻酔をご提供できるよう日々の診療に取り組みます。

循環器内科



いしばし のぶゆき
石橋 伸幸

出身大学
弘前大学
平成30年卒

専門とするもの
循環器一般
救急医療

認定医・専門医
日本救急医学会認定
救急科専門医

メッセージ

患者様の声にしっかり耳を傾け、丁寧な診療を行ってまいります。

産婦人科



おじま
小島つかさ

出身大学
福島県立医科大学
平成30年卒

専門とするもの
産婦人科一般

認定医・専門医
産婦人科専門医

メッセージ

適切な医療の提供を心がけています。

リウマチ・膠原病内科



まつもと はるき
松本 聖生

出身大学
福島県立医科大学
平成30年卒

専門とするもの
リウマチ膠原病

認定医・専門医
内科専門医
リウマチ専門医

メッセージ

気になる症状について、気兼ねなくご相談下さい。
よろしくおねがいいたします。

脳神経内科



つちはし かなえ
土橋 奏恵

出身大学
福島県立医科大学
令和2年卒

専門とするもの
脳神経内科

メッセージ

はじめまして、7～9月の3ヶ月間勤務させて頂きます土橋奏恵です。丁寧な診療を心がけてまいります。
よろしくおねがい致します。

日本赤十字社福島県支部 災害救護訓練に参加しました



7月13日(土) 日本赤十字社福島県支部にて、「日本赤十字社福島県支部災害救護訓練」が行われました。日本赤十字社は、災害救護活動を行う使命と、非常災害時には指定公共機関として、国への協力が義務付けられています。災害発生時に、迅速で的確な災害救護活動を行うため職員が必要な知識や技術を習得し、災害救護活動の充実を図ることを目的として、毎年災害救護訓練が行われています。

訓練当日は、福島赤十字病院の医師、研修医、看護師、言語聴覚士、診療放射線技師、事務職員のほか、日本赤十字社福島県支部や福島県赤十字血液センターの職員も参加しました。また、午後からは大原総合病院や済生会福島総合病院、医療生協わたり病院の研修医も加わり48名が受講しました。

訓練受講者より、「他職種とのコミュニケーションの難しさや協働の大切さを痛感した。日々の業務の中でも、積極的に他職種とコミュニケーションを図り、基礎的な技術や知識の習得に広くアンテナを張って身に付けていきたい。活動の機会があった際に赤十字の使命を果たすことができるよう精進していきます」という感想がありました。

福島赤十字病院は、赤十字の使命を胸に今後も研修・訓練を通して職員の災害対応力を高めていき、頻発する災害に対応できるよう努めて参ります。

形 式	内 容
講 義	『赤十字と災害救護』 『災害医療概論』 『救護員の役割 (医師、看護師長・看護師、主事)』 『トリアージタッグの取り扱い』 『トリアージ START 法』

形 式	内 容
活動報告	『能登半島地震救護活動』
実 習	『無線通信』 『トリアージ PAT 法』 『衛星電話の使い方』『記録の取り方』
演 習	『避難所支援 避難所アセスメント』 『救護所の設置と運営』

訓練内容



演習「救護所の設置と運営」



実習「トリアージ PAT 法」



講義「トリアージ START 法」



実習「記録の取り方」

特集
2

今から使おう！ “マイナ保険証”



2024年12月2日に、健康保険証の発行が終了となり、
“マイナ保険証”へ切り替わります！

※健康保険証もしばらくは使用できますが、1年間の経過措置後使用できなくなります。

“マイナ保険証”を使ってみませんか？

マイナンバーカードを健康保険証として利用するには、まず登録が必要です。
下記要領にてお手続きをお願いします。

■ マイナ保険証の登録方法

< 必要な物 > マイナンバーカード

< 登録場所 > 2階 保険証確認コーナー

*11時30分以降は、1階総合受付へお声掛けください

顔認証付き
カードリーダー

< 登録手順 > 所要時間：1～2分

STEP ① 顔認証付きカードリーダーに、マイナンバーカードを置く

STEP ② 画面の案内に沿って『顔認証』か『暗証番号』のどちらかの方法で、本人確認をする

STEP ③ マイナンバーカードを健康保険証として登録するボタンを選択し、画面の案内に沿ってお手続き



そのほか、セブン銀行のATMを利用したり、ご自身のスマートフォンにマイナポータルアプリをインストールして、利用登録することも可能です。

マイナ保険証の登録が完了したら、いつでもマイナ保険証としてご利用が可能です！

■ マイナ保険証のご利用方法（マイナ受付）

< 受付場所 > 2階 保険証確認コーナー

* 11時30分以降は、1階総合受付へお声掛けください

< 受付方法 >



※マイナ保険証は、従来の健康保険証とは異なり、**受診の都度「本人確認（マイナ受付）」と「医療情報閲覧の同意確認」が必要**です。

※受診の際は、お忘れなく“マイナ保険証”をご持参ください。

医療情報閲覧の同意について

患者さんの医療情報データに基づいたより良い医療提供のために、下記閲覧の同意にご協力をお願いします。

	同意が必要な事項	同意いただく目的（メリット）
①	「患者さんの特定健診情報閲覧」に関する同意	🍀 安心 医師が、患者さんの特定健診情報や薬剤情報を用いて、正確なデータに基づいた、より良い診療の提供を行うため
②	「患者さんの薬剤情報閲覧」に関する同意	
③	「限度額適用認定証利用」に関する同意	🍀 便利 限度額適用認定証の申請手続きなしで、高額療養費制度における限度額を超える支払いが、免除されます

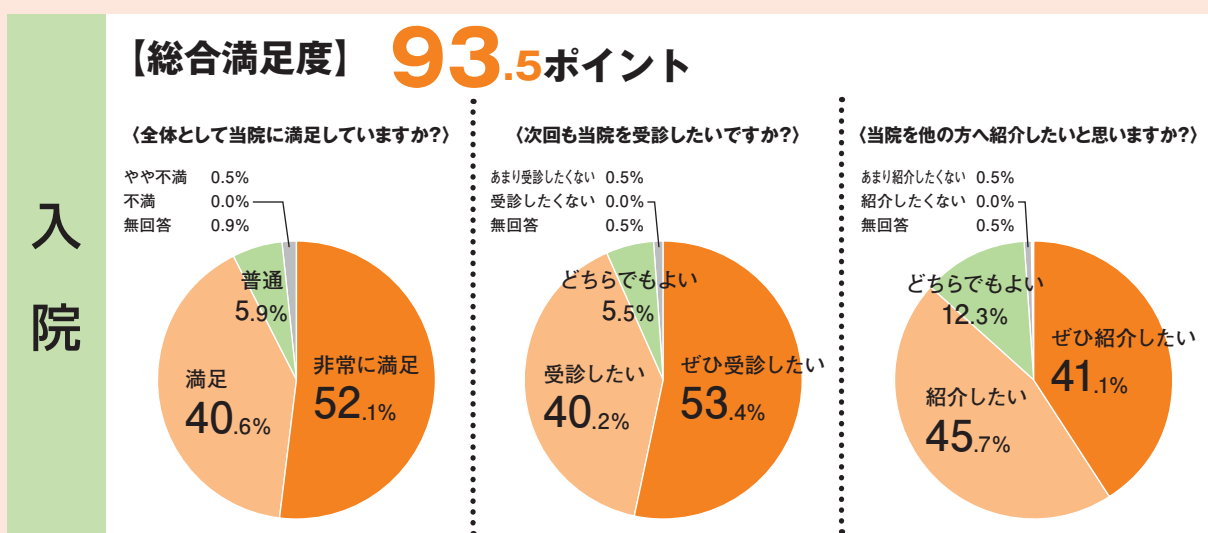
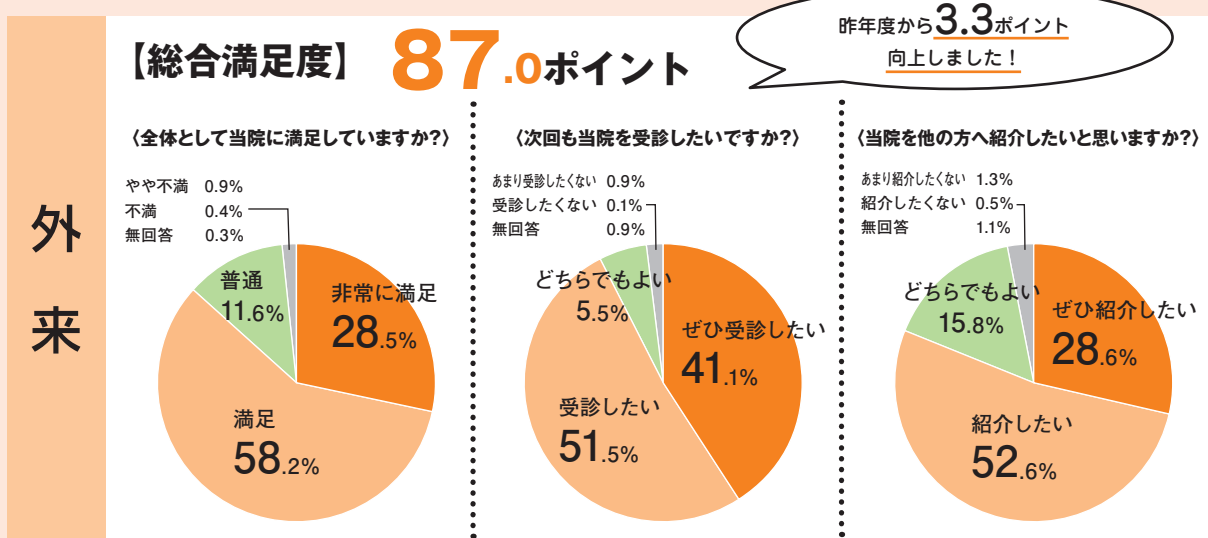
※各受給者証については、マイナンバーカード（マイナ保険証）と紐づけされておりませんので、保険証確認コーナー等に、月に1度のご提示をお願いします。



患者満足度調査を実施しました

当院の医療サービスの質の向上に活かすために、患者満足度調査を実施しました。
アンケート調査にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。
患者さまから頂いた声を反映して、より満足いただける病院づくりに邁進して参ります。

	外来患者調査	入院患者調査
調査期間	2024年3月11日～2024年3月18日	2024年2月1日～2024年4月12日
回答数	968件	224件



総合満足度については、アンケート参加病院内で**外来3位（63病院中）、入院4位（57病院中）**と大変高い評価を得ることができました。総合的には、「職員の接遇」「納得したうえでの治療」についてご満足いただいているとの結果でした。一方、「質問のしにくさ」「施設の不便さ」「診察、会計、手続きの不円滑」については低い評価のため、今後の課題として受け止め、改善に繋げて参ります。



詳細は当院ホームページから確認いただけます

福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

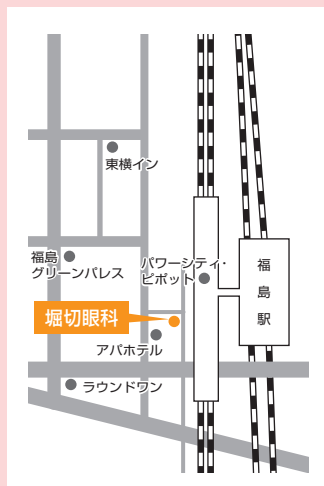
*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

堀切眼科

■院長 堀切 紘子 先生

～堀切先生からのメッセージ～

当院は福島駅西口にある眼科の診療所です。幅広い年代の方に来院頂いており、コンタクトレンズ診療も行います。バリアフリーで車椅子の方も通院しやすく、キッズスペースも設けております。患者様一人一人に合わせた診療を理念とし、スタッフ一同で取り組んでいます。眼科の山田先生には白内障の患者様を受け入れて頂き、術後の患者様の満足度も高く、感謝しております。今後も地域や病院との連携を大切に頑張りたいと思います。



《診療科》

眼科

《住所》

〒960-8068

福島市太田町8-17

《電話》

024-563-1504

《休診日》

木・日・祝日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:30	○	○	○	×	○	○	×
午後	15:00～18:00	○	○	○	×	○	○	×

保原中央クリニック

■院長 菊池 重幸 先生

～菊池先生からのメッセージ～

当院は、伊達市内で医療・介護施設を運営する公益財団法人仁泉会の外来専門クリニックです。福島赤十字病院をはじめとする地域の医療機関や当法人で運営する北福島医療センターと連携を図りながら、地域における「かかりつけ医」の役割を担っています。皆様に選んでいただけるクリニックを目指すとともに、住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるよう努めてまいります。令和6年4月より、新たに小児科も加わり、家庭医療科では新規の在宅診療受付を行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。今後とも、よろしくお願いいたします。



《診療科》

家庭医療科・小児科・
 心血管外科・眼科・
 整形外科・耳鼻咽喉科・内科・
 皮膚科・糖尿病内分泌内科・
 婦人科

《住所》

〒960-0611

伊達市保原町字城ノ内73-1

《電話》

024-575-3231

《休診日》

土曜日の午後・日曜日・祝日・
 年末年始(12/31～1/3)

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後	14:00～17:00	○	○	○	○	○	×	×

※診療科により診療日・時間が異なりますのでお問い合わせください



脳検診を 受けてみませんか？

〈脳血管疾患による死亡率、福島県はワースト4位〉

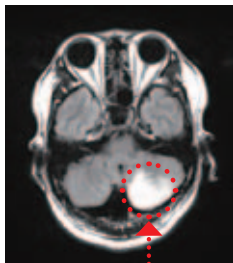
厚生労働省が発表した2023（令和5）年の人口動態統計で、福島県の脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）の死亡率は都道府県別ワースト4位でした。脳血管疾患は、一瞬にして命を奪ったり、障害や麻痺などの後遺症を起こしたりする深刻な病気です。これらの病気は発症して治療するのでは遅いとされ、発症前における予防が効果的とされています。こうした脳の病気を早期発見し未然に防ぐため、当院では「脳検診」を行っております。

～ このような方に脳検診をお勧めします ～

- 高血圧、糖尿病、脂質異常症の治療をしている方
- 家族に脳卒中にかかった人がいる方
- 脂肪や塩分を多く取る傾向にある方
- 心臓に病気のある方
- たばこを吸う方、吸っていた方
- 40歳以上の方

〈脳検診では2つの検査を行います〉

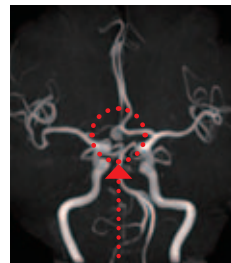
MRI



脳梗塞

磁気と電磁波によって、脳の断面を映し出します。放射線被ばくもなく、小さな脳梗塞や脳腫瘍なども発見できます。

MRA



脳動脈瘤

造影剤を使わずに脳の血管を立体的に画像化します。脳動脈瘤や脳動脈の狭窄などを発見できます。

検査結果は当院の脳神経内科医、又は脳神経外科医が異常がないか確認を行います

〈検査の概要（健診へオプション付与、又は脳検診単独検査も可能です）〉

- ①実施日 月曜日～金曜日の午後 ※完全予約制
(開始時間：13時／13時30分／14時／14時30分)
- ②実施時間 約30分
- ③検査項目 頭部MRI、頭部MRA、頸部MRA
- ④検査費用 14,300円（税込）
- ⑤申込み／お問い合わせ 健診センター（024-534-6101 ※代表）
※予約受付：月～金 10時～16時



健診センターの
ページはこちら

※検査を受けるにあたりいくつかの注意事項もございます。まずはお気軽にお問い合わせください。

発行
編集

福島市八島町七番七号
千九六〇―八五三〇

福島赤十字病院
☎（024）534-6101

印刷
陽光社印刷株